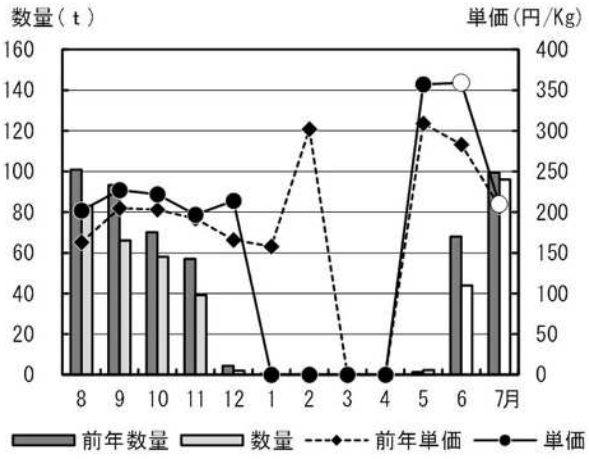
東京都中央卸売市場における７月の主要な愛知産青果物の動向

１　７月の見通し

品目名　とうがん

区分 / 実績等		入荷量	卸売価格	前年上位3産地(%)		市場からの提言等
実績	2020年	486	126	神奈川	31%	愛知産は、品質面では特に良いものから並以上まで産地により差がみられるが、全体的には問題がないレベルである。 例年６月下旬から７月末にかけて各産地の入荷ピークが重なり単価が下がるため、難しいとは思うが、なるべく山谷の少ない出荷体制を検討してもらいたい。
	2021年	529	126	静岡	28%	
	2022年	582	140	愛知	24%	
	2023年	471	165			
	2024年	414	158			
５ヵ年平均		496	143			
2025年見通し		400	160			

愛知産の動き

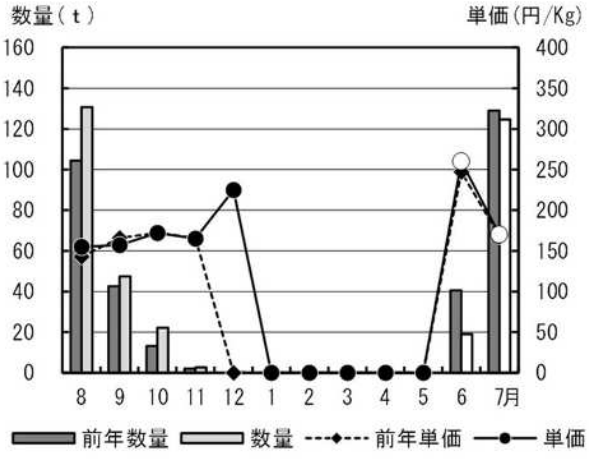


産地概況

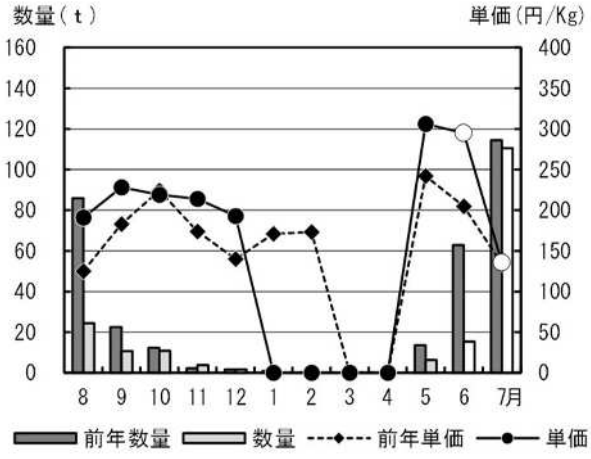
本県の作付面積は前年よりやや減少、競合産地の静岡は前年よりわずかに減少、神奈川は前年並と見込まれる。各産地からの本年の入荷は、静岡は５月中旬、本県は５月下旬、神奈川は６月上旬に始まっている。

７月は気温が高く、今後の生育への影響が懸念されるが、出荷量がまとまる時期であるため、全体としては安定した入荷量が見込まれる。

競合産地の動き（神奈川）



競合産地の動き（静岡）

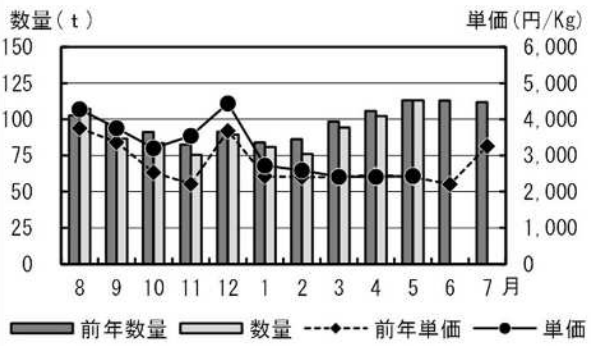


２　入荷量・価格の動き

品目名　おおば

前年上位３産地（%）　　愛知 84%　　茨城 14%　　大分 1%

愛知産の動き

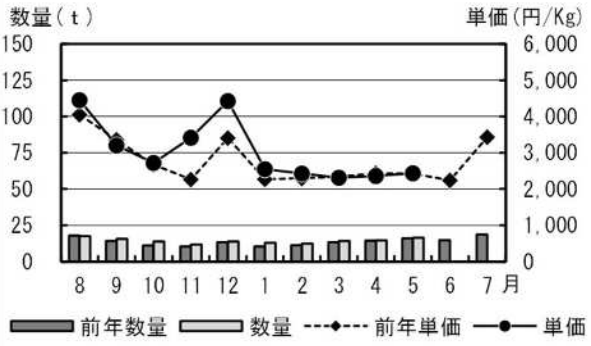


産地概況

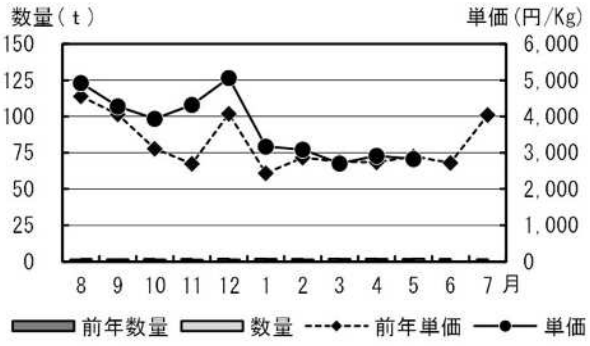
５月までは各産地の生育は概ね順調であったが、６月に入ると前年よりも早い時期から真夏日が多くなったため、入荷量は前月比で１～２割減少し、前年同月比では１割ほど少ない状況となっている。

大分は６月27日に梅雨明けし、愛知と茨城も平年よりかなり早い７月上旬の梅雨明けが予想されており、需要期の旧盆まで各産地からの入荷量は少なく推移すると見込まれる。

競合産地の動き（茨城）



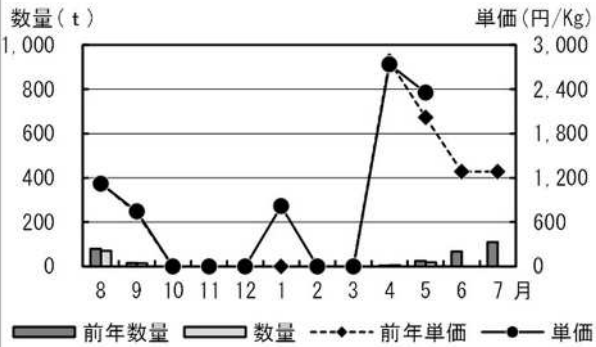
競合産地の動き（大分）



品目名　ハウスみかん

前年上位３産地（%）　　佐賀 78%　　愛知 12%　　大分 4%

愛知産の動き

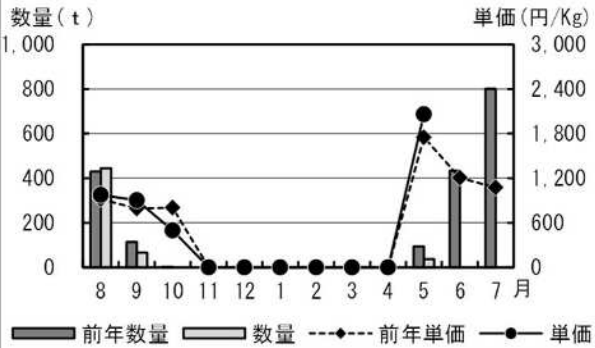


産地概況

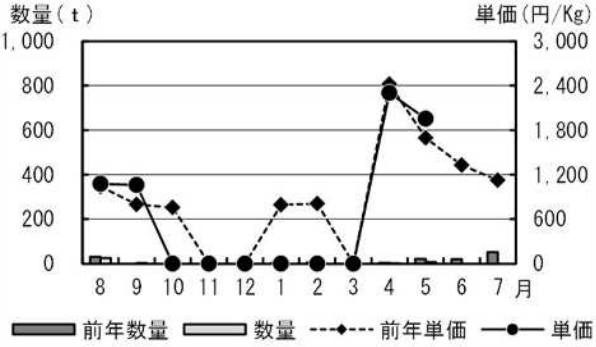
本県の作付面積は、県内各産地とも前年並。蒲郡は、需要期の７月出荷を強化していくため、数量は前年より多くなる見込み。６月から７月へ収穫を遅らせた影響で、大玉傾向になる。知多は中旬から下旬に出荷のピークを迎え、Ｍ・Ｓサイズ中心で品質は良好。伊良湖はサイズによって着色にバラツキがある。

佐賀は、着色も良く食味は前年より良好。大分は、数量前年比90%の見込み。

競合産地の動き（佐賀）



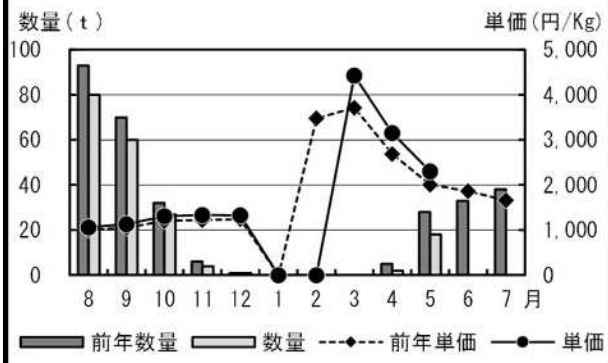
競合産地の動き（大分）



品目名　いちじく

前年上位３産地（%）　　愛知 79%　　熊本 7%　　和歌山 4%

愛知産の動き

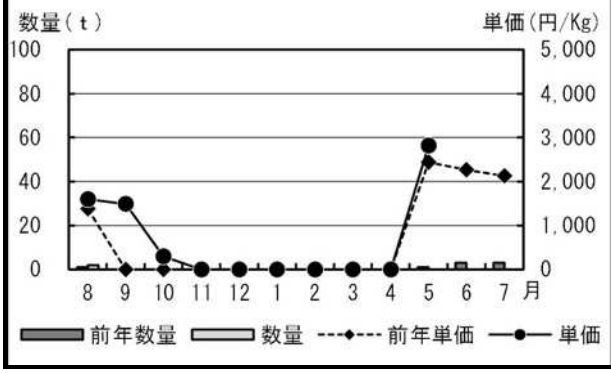
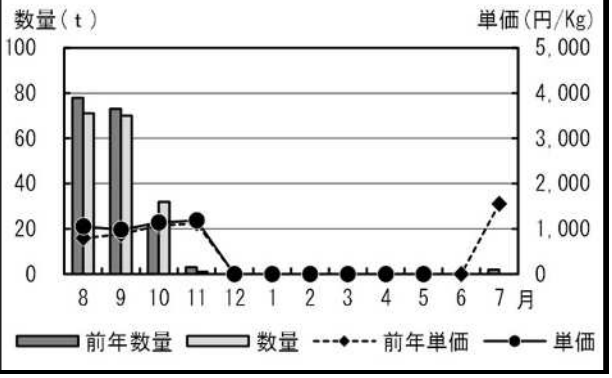


産地概況

本県産の作付面積は前年並。県内産地は下旬にかけて、東三河は無加温栽培、西三河は露地栽培へと切り替わる。前月までは日照不足のため収穫が遅れていたが、気温の上昇で生育が進み、数量は前年並みの見込み。

熊本は、天候不順のため例年より生育は２～３日遅れているが、数量は前年並で、３Ｌサイズ中心の見込み。和歌山は前年同様に上旬から出荷が始まる。

競合産地の動き（熊本）



競合産地の動き（和歌山）